

市民企画講座・講演後記

滋賀大学経済学部 近藤豊将

筆者は、去る9月28日(金)、市民企画講座において講演してきました。企画名は「2050ひこねみらいトークン！人口減少(少子高齢化)が進んであなたのまちで暮らせますか?」、筆者の講演タイトルは「少子高齢化の影響～マクロ経済学、社会的リスクの視点から」でした。第1部として、最初に筆者が人口減少、少子高齢化の影響を主にマクロな視点から説明し、次に企画担当のK氏より彦根市の各地域での人口動態のミクロな詳細が報告されました。それを受けて第2部では、参加者の方々から地域が抱える様々な問題点について述べていただき、意見交換を行うという流れでした。

筆者はいわゆる団塊ジュニア世代のピークに属しており、同学年の人口は200万人を超えていました。その後子供は減り続けており、ここ2～3年は一学年あたり100万人を切っています。まさに、一学年の人口については(大げさでもなんでもなく)半減しているのです。そして、筆者はすでに40代ですから、もうかれこれ少子化は40年以上続いていることとなります。日本の総人口も2014年をピークに減少過程に入っており、今後急速に高齢化と人口減少がすすんでいくことはわかりきっています。その一方で、社会全体では、様々な活動を要領よく手仕舞いしながら規模を縮小していくことには、あまり慣れていないのかもしれない。

その矛盾は何らかの形で顕在化せざるを得ません。例えば、高齢者の数が増してきている中で働き手の数は減るので、様々なところで人手不足が加速する可能性があります。彦根市では、現時点でも救急車の数は5台しかなく人手も不足しているため、呼んでも来てくれるとは期待できない、という声も聞かれました。高齢者や障害者の方々の介護にあたる人もなかなか確保できないようです。

他方で、ネガティブなことばかり言っても仕方ありませんし、明るい材料があることも確かです。今後、人工知能、AI、IoTなどをうまく活用すれば、労働者一人当たりの生産性を上げることは可能でしょう。また、60代、70代でも十分に元気な方も多く、いかに「元気老人」を生み出し、社会で活躍してもらうかを考える余地は大いにあります。

私個人の考えもないではありません。先進諸国では押しなべて高齢化が進んでいますが、世界全体で見ればまだまだ人口は増加しており、高齢者は“希少資源”といえます。そこで、日本の高齢者が、定年退職後に発展途上国の若年層のために教育・技術指導などに携わるのも一案でしょう。65歳から70歳まで発展途上国にわたり、豊かな経験に裏打ちされたサービスを提供して現地の企業や政府から報酬をもらう、その間、日本での年金は少々カットすれば、両国にとってプラスを生み出せるかもしれません。退職後に海外に住むのはしんどいと思われる方は、日本にいながら自分たちのスキルを活かせる何かを世界の若年層のために提供して、利益を得ることも可能かもしれません。高齢者の直接的および間接的な“輸出”

といえるでしょうか。人々の自発的な経済活動が社会全体に利益を生み出すのは、経済学の基本原理です。

いずれにせよ、高齢化に伴う問題は、これからいよいよ深刻化してきます。明るい材料があるはといっても、危機を正視し、それに立ち向かう備えが伴わなければ材料のまま腐ってしまいます。幸い本学の彦根キャンパスは、社会問題を経済学の視点から考える専門的研究機関である経済学部と情報技術のプロ集団であるデータサイエンス学部が共存するという将来性豊かな陣容を誇っています。我々が、地域の課題を吸い上げながら少子高齢化社会を乗り切るモデルケースを示すことができれば、高齢化問題で日本に続く多くの先進諸国の参考になることでしょう。筆者としては、そのような“災い転じて世界貢献”という構図を虎視眈々と狙っています。

(平成 30 年 10 月)

平成30年度 ウィズ市民企画講座
2050 ひこねみらいトークン!
「人口減少 (少子高齢化)が進んで、あなたのまちで暮らせますか？」
9/28(金) 19:00~20:30
彦根市男女共同参画センター「ウィズ」にて

約30年後、彦根が、みんなの地域が、どんな姿になるのか、安心して暮らすにはどうすればいいか、ともに考えましょう。

参加無料
先着30名程度
途中参加・軽装OK
5名以上で参加されたい場合は事前に予約してください。

第1部「約30年後の彦根はどんな姿に？」
I 「少子高齢化の影響 ～マクロ経済学、社会的リスクの視点から～」
近藤豊将 先生
(滋賀大学リスク研究センター長)
II 「予測される人口、市の取組紹介 ～国統計や市計画等から～」
児島聖治
(ひこねまちかどプロジェクト)

第2部「約30年後、彦根で安心して暮らすには？」
※第1部を踏まえ、みんなが少しでも安心して暮らせるための取組・留意点等についてみんなで語り合います。

お問合せ

- ひこねまちかどプロジェクト
児島 090 - 1020 - 9806
- 彦根市男女共同参画センター「ウィズ」
(彦根市平田町670)
中川原 0749 - 24 - 3529

